

IV-329 北陸地域における道路交通情報に対するドライバーの意識調査分析

金沢大学工学部 正会員 高山純一*
 金沢大学大学院 学生員 ○松本 司*
 (社)システム科学研究所 正会員 酒井大輔

1. はじめに

現在、日本の道路交通社会は渋滞・交通事故・沿道環境や地球環境への影響など様々な問題を抱えている。こうした問題解決のひとつに「道路交通情報提供」があり、渋滞の軽減などによる交通の円滑化を通して環境保全に役立つことが期待されている。

道路交通情報の提供手段には、テレビ・ラジオや道路上に設置されている可変情報板・インターネット・ナビゲーションシステムなどがあり、提供される情報にも、渋滞情報や事故情報、目的地までの所要時間情報、観光情報など様々なものがある。しかし、道路交通情報はドライバーに対して強制力を持つものではなく、情報を信用して、利用するかどうかはドライバーの判断に任されている。したがって、効果的な情報提供を行うには、ドライバーの情報提供に対するニーズを知ることが必要である。

本研究は、アンケート調査により北陸地域におけるドライバーの道路交通情報及び情報提供施設に対するニーズを明らかにし、どのようにしたらドライバーの道路交通情報の利用促進につながり、北陸地域の特性に合った道路交通情報システムの整備に役立つかを明らかにすることを目的としている。

2. アンケート調査の概要

(1) 概要

道路交通情報に関するアンケート調査を金沢市において平成 11 年 1 月に実施した。

(2) 調査方法

調査対象者を一般ドライバーと職業ドライバーの 2 種類に分け、一般ドライバーには、一般家庭へアンケート調査票を配布し、後日回収した。また、学生にも配布し、その場で回収した。職業ドライバーには、運輸会社・宅配会社への依頼という方法で行った。一般ドライバーへの調査では、配布 350 票、回収 181 票、

回収率 51.7%であり、職業ドライバーへの調査は、配布 261 票、回収 102 票、回収率 39.1%という回収結果であった。

3. 過去 1 年間における道路交通情報の利用の状況

過去 1 年間における道路交通情報の利用の有無を職業別にみると図-1 に示すようになる。この図より運転する機会の多い職業運転手のうち「利用していない」と答えた人が 51.6%と半数以上を占めており、運転する機会が多ければ、それだけ道路交通情報を利用するというわけではないことがわかる。反対に、一般ドライバーは、道路交通情報を利用する人が多く、情報への依存度が高いことがわかる。

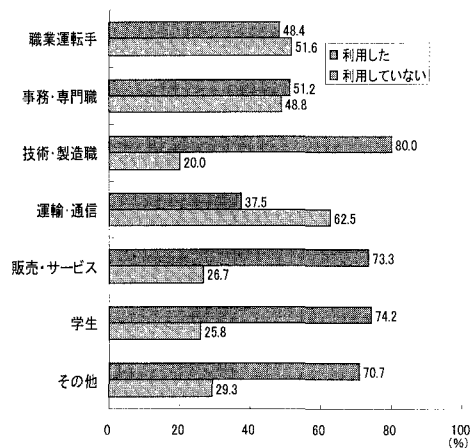
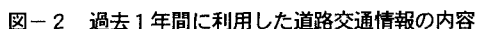


図-1 過去 1 年間における道路交通情報の利用の有無

図-2 は、移動の目的別に入手した道路交通情報の内容を表したものである。移動目的によってそれほど差異は見られず、利用した情報内容としては「渋滞情報」が非常に多く約 40%を占めている。次いで「規制情報」、「通行止情報」、「気象情報」があげられる。「気象情報」は約 15%占めており、これは降雪・積雪のある北陸地域の特徴であると思われる。

キーワード：道路交通情報、情報提供、アンケート調査

* 〒920-8667 金沢市小立野 2-40-20 TEL 076-234-4650 FAX 076-234-4644



ドライバーが求める道路交通情報は、移動の目的によって異なると考えられる。一般道路、高速道路、サービスエリア・パーキングエリアを利用中に必要とする道路交通情報に対するニーズを移動目的別（通勤・通学のとき、旅行・観光のとき、仕事・業務のとき）に質問した。

図-3は、今後、一般道路走行中にドライバーが求める道路交通情報を移動の目的別に表したものである。いずれの移動目的によっても「渋滞情報」のニーズはとりわけ高いことがわかる。次いで通勤・通学のときは、「気象情報」に対するニーズが多い。旅行・観光のときには、「観光案内・周辺地域案内」、「目的地周辺



今後、利用したい情報提供施設を出発前と出発後に分けて質問した。

図－４は、出発後に利用したい情報提供施設の利用意向を表している。交通情報ラジオ、一般道路上及び高速道路上の情報板に対する利用意向が約８割となっており、これらの手段による情報提供の有効性が示されている。

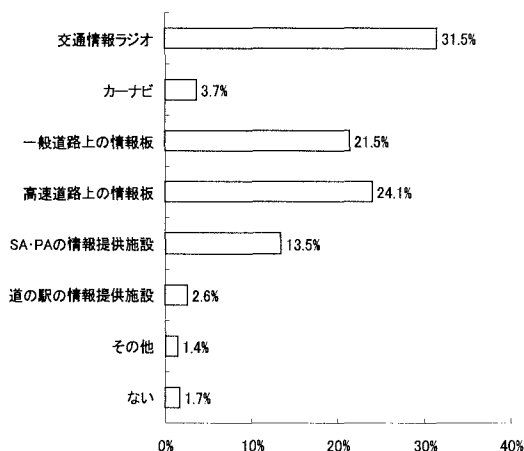


図-4 今後、出発後に利用したい情報提供施設

今回のアンケート調査により現状における道路交通情報の利用状況と今後の利用意向が把握できた。

今後の課題としては、道路交通情報利用プロセスを考慮した情報入手後のドライバーの対応行動に関する調査を加えることによって、一連の行動を多角的に分析する必要があると考えられる。

- (1) 城戸正行、山岸将人、永田恭裕「道路交通情報に対する意識と行動に関する研究」 土木計画学研究・講演集 No. 20(1) pp. 407~410 1997
- (2) 飯田恭敬、内田 敬、中原正顕、廣松幹雄「交通情報提供下の経路選択行動のパネル調査」 土木計画学研究・講演集 No. 16(1) pp. 7~12 1993
- (3) 長田 仁、飯田恭敬、宇野伸宏、三輪英夫「道路交通情報の利用特性に関する実証的分析」 土木計画学研究・講演集 No. 20(1) pp. 419~422 1997